

千葉市ブルーボンド

(機関投資家向け・10年債)

千葉市は、SDGsの取組みに対する理解促進や、千葉市債の投資家層拡大を図るため、今年度もブルーボンドを発行します。

発行概要

名称	千葉市令和7年度第8回公募公債（ブルーボンド）
年限	10年（満期一括償還）
発行額	未定
各公債の金額	1,000万円
条件決定日	最速令和7年11月（予定）
発行日	最速令和7年11月（予定）
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券（事務）／大和証券／野村證券
購入対象	機関投資家向け
適合性評価	国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則2021」及びIFC（国際金融公社）の「Guidelines for Blue Finance（2022年1月）」等との適合性について、株式会社日本格付研究所より、最上位評価の SU1(F) 及び B1(F) を取得しています。
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本市ウェブサイト上で投資家名をご紹介します。

資金使途として想定している事業

ブルー適格プロジェクト（汚染の防止と管理／水衛生）



管渠改築事業



ポンプ場整備事業



浄化センター整備事業

ブルーボンドとは

調達資金の全額 が海洋保全等に資するブルー適格プロジェクトに充当される債券です。
一昨年度、本市は地方公共団体で初の事例となるブルーボンドを発行し、今年度は3回目の発行となる見込みです。

※ 調達資金の全額がブルー適格プロジェクトに充当されるグリーンボンドをブルーボンドと定義



千葉市ブルーボンドの特徴

1 希少性

- SDGs債市場において、ブルーボンドの発行例は極めて少なく、希少性の高さが特徴
- 特に、調達資金の全額がブループロジェクトに充当されるブルーボンドを発行する自治体は **千葉市のみ**

【SDGs債のラベル別供給量】(～R7年度9月末条件決定分)

	全セクター		うち地方債	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
グリーン	587	約7.3兆	113	1.0兆
ソーシャル	438	約9.8兆	9	2,500億
サステナビリティ	265	約3.8兆	29	2,634億
その他	176	約2.9兆	3	136億
ブルー	8	652億	2	65億

出典：発行登録書類等EDINET公表資料、キャピタルアイ・ニュース、発行体プレスリリース

2 地元での話題性

- 昨年度のブルーボンドは発行額35億円に対し12件の投資家が購入、12件が投資表明実施
- うち千葉県内の投資家は7件**と、多くの地元投資家が参加

【昨年度の千葉市ブルーボンド投資表明内訳】



3 商品性

- 右上の図の通り、ブルーボンドはグリーンボンドに内包されるため **日銀の気候変動オペの対象**
- 対象金融機関は低利での資金調達が可能に

【日銀気候変動オペの概要】

貸付期間	原則1年 (繰返し利用により長期の資金調達が可能)
貸付利率	0.50%

出典：日銀HP(9月時点)

お問い合わせ先

購入に関する
お問い合わせ

三菱UFJモルガン・スタンレー証券
千葉支店
TEL 043-246-6396

大和証券
千葉支店
TEL 043-227-8181

野村證券
千葉支店
TEL 043-227-2161

その他SDGs
債に関する
お問い合わせ

千葉市 財政局財政部資金課
TEL 043-245-5078 E-mail shikin.FIF@city.chiba.lg.jp
URL <https://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/shikin/sdgsbonds.html>

